

“新宿弄便センターの実際” 明日からきっと試してみたくなるはず

認知症ケアに自信がありますか？

周辺症状は周りも大変ですが、実はご本人が最も苦しい思いをしています。その苦しさに向精神薬などを使って二重の苦しさを与えていないでしょうか。薬物を使わずに介護のアイデアで、周辺症状を改善しているところがあります。今回のセミナーでは、第一部で究極のBPSDと言われる「弄便」の症状改善に躍進している認知症対応型通所介護の実際の取組について、第二部では間違いやすい「治る認知症」について、実際に新宿弄便センターで介入し成果を上げている医師にお話を頂きます。「利用者にすぐ試してみたい」介護に携わる方のモチベーションアップは、これです。

対象

- ・医療施設・介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設・特定施設入居者生活介護
- ・通所リハビリ・通所介護・地域密着型通所介護・短期入所生活介護・短期入所療養介護
- ・認知症対応型共同生活介護・認知症対応型通所介護・(看護)小規模多機能型居宅介護・居宅介護支援事業所・地域包括支援センター
- ・訪問介護・訪問看護・訪問リハビリ・訪問入浴・福祉用具

第一部

13:30~15:30

「介護は薬物を使用しない治療！」 ～BPSDを改善する新宿弄便センターでの介護の工夫～

- ・周辺症状はドパミン、セロトニン、ルアドレナリンのバランスが障害された状態
- ・抗ドパミン、セロトニン、ルアドレナリン薬剤の効能と副作用
- ・向精神薬の副作用が死を早める(薬剤拘束)
- ・薬剤の体内蓄積が生じると「薬剤性せん妄」をきたす
- ・周辺症状への薬物治療は、諦めである
- ・新宿弄便センター「和楽静華庵」
- ・保続型弄便の改善事例
- ・強迫性神経症型弄便改善事例
- ・前頭側頭型認知症非流暢型弄便改善事例
- ・介護の工夫で家族の負担が軽減する など

第二部

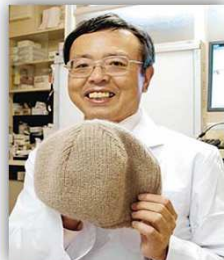
15:40~17:40

「治る認知症を知っていますか」 ～認知症の正確な知識を持つと救える方を増やす事が出来る～

- ① 医療の進歩はものすごく速い
- ② 完全治療可能な認知症
 - ・慢性硬膜下血腫
 - ・正常圧水頭症
 - ・ヘルペス脳炎
 - ・甲状腺機能低下症
 - ・ビタミンB12・葉酸欠乏症
- ③ 正確な知識がなければ諦めてしまう
- ④ 進行を遅らせることが出来る疾患
 - ・脳血管認知症治療の基本戦略は、脳の血管を広げる、血液を流れ易くする、脳の血流を増加させる事
 - ・アルツハイマー型認知症治療の基本戦略は、エピソード記憶力回復と意味記憶能力強化リハビリ
 - ・レビー小体型認知症に薬剤効果はほとんど期待できない。基本戦略はリハビリ
 - ・増える「キレるお年寄り」前頭側頭型認知症かも・・・社会的配慮が必要
- ⑤ 若年性認知症
 - ・若年性認知症の原因と症状、発祥のサイン
 - ・若年性認知症の方の受け入れ方法 など

鈴木医院 神経内科医師

木原 幹洋 先生



【略歴】

元 MAYO Clinic Assistant Professor (米国)
前 近畿大学医学部内科助教授
平成13年より鈴木医院(新宿区)
「介護は治療だ!」という事をコンセプトに、各地で講演活動を精力的に行っている。笑いとユーモアたっぷりの解説に、引き込まれるはずです。

開催日

平成30年 3月15日(木)
13:30~17:40

会場

共創未来メディカルケア(株) 2F研修センター
東京都新宿区上落合2-26-3
最寄駅: 東西線落合駅4番出口より徒歩1分
西武新宿線・都営大江戸線中井駅より徒歩7分

参加費

お一人様
11,000円
(振込)

※ 17:40~18:00講師と名刺交換の時間を設けます

申込FAX: 03-3360-6712 (御申込受領後、受講票をFAXで送ります。参加費用の振込口座は、受講票に明記しております)

団体名				TEL				
住所				FAX				
				E-mail				
参加者名	所属	役職	参加者名	所属	役職	参加者名	所属	役職